

福王寺だより

今年は全国的に寒気がはいり厳しい冬となりました。オホーツク地方は、厳しい寒さではありませんが、雪が少なく、穏やかな天気となりました。それでも後一月、もうすぐ春を迎えます。

季節の変わり目のお彼岸に、手を合わせ感謝の心を育み、春を迎えて明るく生きていきましよう。

お参りの輪を

昨年、NHKでは都会における孤立死をとりあげておられました。平成二十八年東京都では、四千五百人以上の方が孤立死されており、驚く事に、老人だけでなく、五十代より下の世代が二割以上おられました。

いま日本はプライバシー、個人の尊厳ということが全面的におされ、近所付き合いや、地域社会の参加等が希薄になつていのが現状です。

確かに、昔とは違い便利な世の中となり、一人でも生きていける。そんな時代となりました。

しかし、それは逆に「自由なかわりに自分一人ですべて行きなさい」といえる文化となつていのではないのでしょうか。

確かに、近所付き合等、いろんな人がいて煩わしい部分がたくさんあります。

しかし、昔のように困ったときに、米を貸し借りするまでには行きませんが、繋がりを持つという事は、生きていく上でとても大切な事ではないでしょうか。

また一番身近にある、親族との縁も希薄となつています。親子の関係でさえも、今はお互いが別々に暮らし遠慮しあつて生きています。電話をかけるのも用事がないと掛けづらいそんな社会ではないでしょうか。

仏教は「縁」によつてこの世界があると説いております。関係性によつて私達の世界が成り立つのです。今の自分も親や子、たくさんのご縁のお陰でここにおります。

「お陰様は仏様」こんなことをいつたお坊さんもおられますが、ご縁を大事にすることは生きていく上でとても大切な事です。お参りするという事は、そういう繋がりが「ご縁」に心を向け、感謝の心を育むことでもあると思ひます。

昔はおじいちゃんやおばあちゃんがお寺にお孫



さんを連れてきた時代もありました。今の子供は仏壇のない家が殆どです。手を合わせる機会がなかなかありません。

ですから別々に暮らすお子さんやお孫さんたちにも、法事であったり、お盆であったり、出来れば、自分一人でお参りしないで、手を合わせる機会を作つて上げて下さい。お参りの輪を広げて、ご縁を通して、それぞれのご縁を更に深めて、お互いが思い合う家庭を増やして、孤立死しない世の中になることを願ひます。

お世話になつた人に「ありがとう」という時間をつくる機会、お参りの輪を広げていきましよう。

この度、実行委員会を立ち上げ「お寺の葬儀についてのパンフレット」作成いたしました。

是非、仏壇に保存頂き、各ご家庭でも葬儀や寺院についてお話頂きたく存じます。

寺院のご案内も、お寺とはどんなことをしているのか、お子さんたちにも見せて頂たく存じます。ホームページもご紹介しますので、ご紹介してみてください。

長文となつてしまいましたが、心通わせらるお寺を目指して精進して行きたいと思ひます。合掌



行事のご案内

春彼岸会 正御影供

三月二十一日 午前十時

於 津別町福王寺

三月十八日

午後一時三十分

於 北見別院

春のお彼岸、弘法大師正御影供」の
参りです。

お大師様、ご先祖様への感謝を込め、皆様の
幸せを祈りましょう。

北見別院では、右記
の日程、「彼岸入り」に
お参り致します。ご都
合で津別のお寺に來ら
れない方は、北見別院
にてお参りください。



維持費納入のお願い

毎年三月のお彼岸の案内とご一緒に、お寺
の維持費のお願いをしております。

お寺の運営は、皆様の維持費、また会場の使
用料によるものであります。

別紙の会計書の通り、皆様の維持費はお寺
の運営の為に使わせて頂いております。納骨の
管理費も含まれておりますので、ご理解を頂
き、一万五千円以上、お納めいただきますよ
うお願い申し上げます。

地方の方には振り込み用紙を同封させて頂
いておりますので、協力頂けましたら幸いです。
世話人さんがおりますところは、帳簿に会計
書がついておりますので、ご確認ください。

寺院 活動報告

初大師 新年会

一月二十一日、お大師
様の初めてのご縁日「初
大師」のお参り、並びに檀
信徒新年会を執行しま
した。

皆様で手を合わせ、お
大師様のご縁を深めて頂
き、檀信徒のご多幸を願



いました。

今年是有志の方が鍋を作つて頂き、美味し
く頂きました。ゲームはティン積み、わなげ
をして、盛り上がりました。

是非お気軽にご参加ください。

節分 星まつり ご祈禱

今年も、節分の星まつり
のご供養、ご祈禱を執
行しました。ご祈禱とい
えば、神社という方もお
られると思いますが、本
州ではお寺にお参りす
ることが多々あります。



有名なところでは成田
山や川崎大師、西では安産祈願の中山寺、弘
法大師のお寺に多く見られ、護摩行の様子は
メディアなどにもとりあげられております。

弘法大師の教えは深く、ご祈禱においても大
変ありがたい作法を残さ
れております。

今年には北見の別院でも
はじめて、護摩を焚き、ご
供養し、ご祈願いたしまし
た。北見の方も、檀信徒
問わず、厄年問わず、お
気軽におまいりください。

